

シリーズ “働く”

現代の名工は鋸のこぎり 一筋45年

「町内はもちろん、遠くは福島県の果樹農家からの注文もあります」と、語ってくれるのは浅井重彌さん（61歳・本町）。

浅井さんは、先月県内の卓越した技能者に贈られる「現代の名工」に選ばれた鋸目立技師。目立の優れた技術はもちろん、果樹剪定用窓付鋸の開

発など、常により良いものを作り出す姿勢が高く評価されての表彰でした。

「これまで続けられたのは、町内のりんご農家のみなさんのお陰です。これからも体力の続く限りがんばりたい」と、この道45年の目立師は、ヤスリを握り締めました。

いがいにズレている男女の結婚観



女性が男性に足りないと思うもの第一位……積極性
男性自身が足りないと思うもの第一位……センスのよさ

今月は、町の後継者対策協議会が八月に独身男女を対象に行つた「結婚観・恋愛観に関するアンケート」の集計を紹介します。

「結婚」という言葉に、回りの人がうるさすぎるように思います。わたしは、落ち着いてじっくり考えようと思つているのに、うわさばかりが先走つてせわしすぎます。干渉されればさ

く見守つてほしいと思います。」
(26歳・女性)

**女性1人に
男性2.4人**

れるほど、結婚に夢や希望がなくなつてきそうです。結婚はしようと思いますが、できるだけ先延ばしにして、まだ若さを楽しまたいと考えています。」(24歳・女性)

これは、町の後継者対策協議会で行つた独身男女の結婚観、恋愛観に関するアンケート調査に寄せられた女性の声です。

平成四年六月現在、町内の二十歳から四十四歳までの独身者は男性が六百八十四人、女性が二百八十人となつています。女性一人に対し、男性二・四人となります。これを二十五歳から三十九歳までの独身者で見ても

ると男性が四百十五人、女性が百十六人となり女性一人に対し、男性三・六人というアンバランスな状況です。

さらに、町内に住所を有する人の婚姻届の状況を見ると、平成元年が五十組、平成二年が三十一組、三年が三十四組となり減少傾向にあるようです。(数字は広報紙を参考)

このアンケート調査は、二十歳から三十九歳の独身者八百七十五人の中から、男性百十一人、女性百十一人を無作為に抽出して行つたものです。回収率がやや低く男性で四四・一%、女性で三三・三%となりましたが、現代の独身者のある程度の傾向が浮き彫りになりました。

**独身者を対象に
アンケート調査**

「結婚観は一人一人違うものなので、周りの人が押し付けるものではないはず。その人が、これだと思つた道を進むべきです。それを周りの人が温か

町内後継者の結婚難が取り上げられ始めた昭和五十一年に、町では民間人七名による結婚相談員制度を発足させました。昭和五十七年には、一人一組仲間運動」を提唱し、若者定住対策町民会議を設置。それらをさら

に充実発展させるため、町内の九団体(町・農協・商工会・農業委員会・婦人会・若妻会・区長会・青年団・社会教育委員会)からなる後継者対策協議会が昭和六十年に設置されました。

同協議会の活動は、男女の出会いの場をつくるということをねらいに「集団見合い」や都会の女性を招いての「スキーツア」などの事業を開催してきました。しかし、残念ながら期待されたほどの成果が上がついていないのが実態です。そこで、協議会では独身者の恋愛観や結婚観についての意識調査を行い、今後の協議会の活動を探ろうと、

結婚問題は基本的には個人的な問題であり、他人や行政がと

○調査の概要

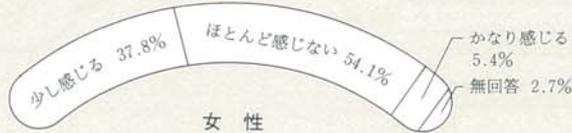
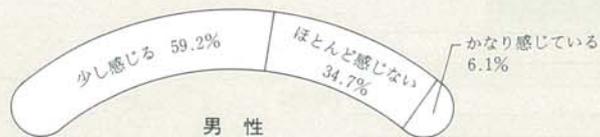
- ▷対象 20～39歳独身男女（各111名）
- ▷方法 郵送によるアンケート調査
- ▷期日 平成4年8月～9月
- ▷回答 男 49通（回収率44.1%）
女 37通（回収率33.3%）



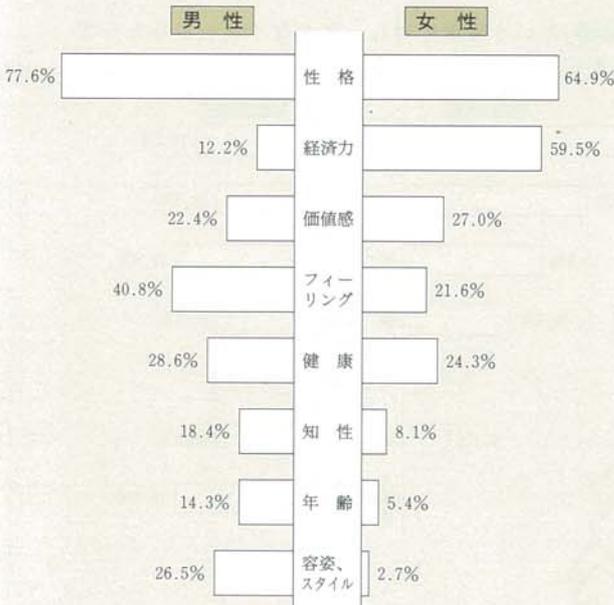
問1 あなたは結婚についてどう考えていますか



問2 自分の結婚について焦りや危機感を感じていますか



問3 あなたが結婚の対象を選ぶ条件（3つまで可）



結婚に対し、じっくり構える女性たち

やかく言うことは差し控えなければならぬことかも知れませぬ。しかし、現実問題として、結婚を希望しているのに、対象となる異性の絶対数が少ないとか、職業がら出会いのチャンスが少ないなどということがあります。町では、そうした方々のために出会いの場をつくるなどのお手伝いをしなければならぬと考え、これまでいろいろな催しを行って来ました。

次に、アンケート調査の中からいくつかを拾って、みなさんと一緒に現代の若者の恋愛観や結婚観について考えてみましょう。

問1の「結婚をどう考えていますか」という設問に対し、男性も女性もいずれしたいと考えている人が最も多く、それぞれ六五・四％、八一・一％となっています。また、今すぐにもしたいと考えている男性が二二・四％なのに対し、女性はその半分の一〇・八％となっています。これは、冒頭の女性のように結婚に対して、じっくり構えている女性の姿が表れているといえそうです。また、年齢の若い女

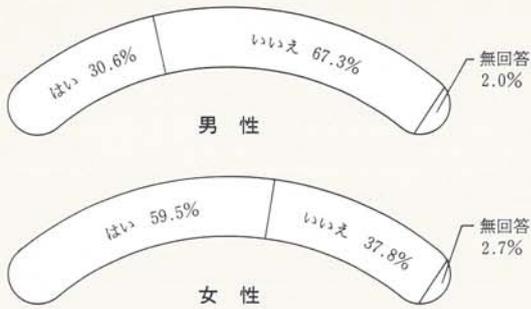
性で、できれば結婚したくないと答えた方が二人いたことは、注目すべき点ではないでしょうか。

問2の「自分の結婚について焦りや危機感を感じていますか」という設問に対し、男性は少しなりとも感じている人が六五・三％と半数以上が感じているのに対し、女性は四三・二％となっています。ここでも、男性より女性の方がじっくり構えている姿がわかります。当然のことながら、男性は年齢が高くなるにつれ、危機感を強くもつ傾向が見られます。

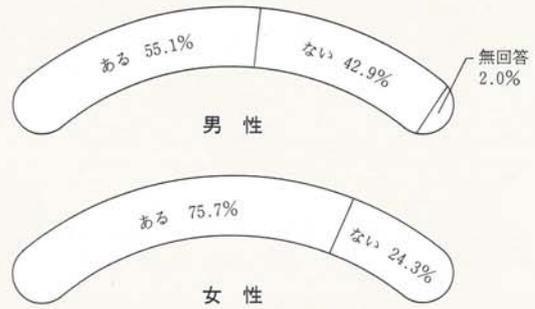
見た目より人間性を大切にします

問3の「あなたが結婚の対象を選ぶ条件は」では、男女とも相手の性格を最も重視しています。女性の第二位が経済力であるのに対し、男性はフィーリング（相手と気が合うこと）を挙げています。また、比較的男性は容姿やスタイルを重要視しているのに対し、女性はほとんど問題にしていません。このことから、女性が結婚相手を選ぶときは、より現実的で、見た目より人間性を重視しているといえそうです。

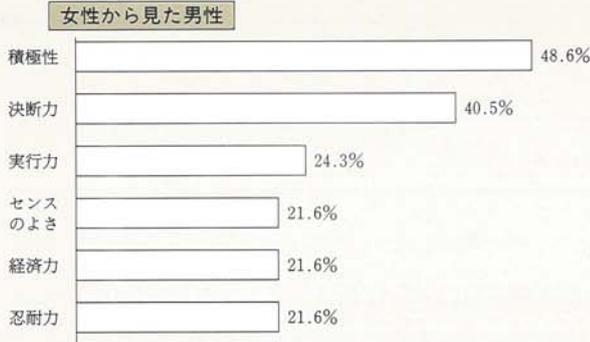
問6 あなたは特定の異性とお付き合いをしていますか



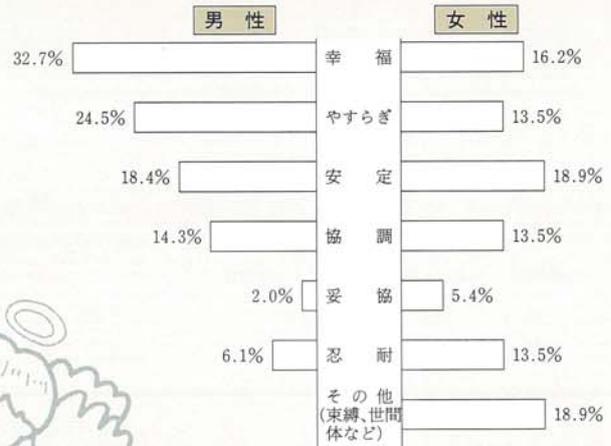
問4 あなたはこれまで縁談をすすめられましたか



問7 あなたのまわりの異性に欠けていると思うもの(3つまで可)



問5 「結婚」という言葉に対し、どんなイメージをもっていますか



問7の「あなたの周りの異性に欠けていると思うもの」という設問では、女性から見た男性

男性にほしい積極性 決断力・実行力

問6の「あなたは特定の異性と付き合っていますか」という設問では、男性は三人に一人、女性では二人に一人が付き合っているという結果がでました。

問6の「結婚」という言葉に対しどんなイメージをもっていますか」という設問では、男性は幸福、安らぎ、安定とかなり期待感をいだいています。しかし、女性は順位はさほど変わらないものの、かなりのばらつきがみられます。また、その他の中身を見ると束縛や世間体という言葉が多く見られ、かなりマイナスイメージをもつ女性がいることも分かりました。

問4の「あなたは、これまで縁談をすすめられましたか」という設問では、女性の四人に三人はすすめられたことがあると答えています。男性は四二・九%が「ない」と答えています。これは年齢的なこともあり一概にはいえませんが、結婚相談員のみなさんの活躍の余地がまだまだありそうです。

問7の「あなたの周りの異性に欠けていると思うもの」という設問では、女性から見た男性

一方男性から見た女性に対する注文中では、思いやりがあつて女らしい素直な女性を求めている様子がくみ取れます。

「一般的に言えることですが、男性が消極的だと思えます。ドライブをしても、話題が乏しく会話は続かないし、食事はどこへ行けばいいのか、分からない人が多いようです。そう言った自信のなさを見せつけられるとやはり物足りなく、魅力を感じなくなりやすくなります。結婚する気があるのなら、もっと自分を表現する「ワザ」と「積極性」を身につけてほしいと思います」(29歳・女性)。

「一方男性から見た女性に対する注文中では、思いやりがあつて女らしい素直な女性を求めている様子がくみ取れます。以上が主なアンケート調査の結果です。今回の調査で、一概に現在の独身者のみなさんをこ

に対しては、積極性、決断力、実行力がベスト3となつています。また、問8の「あなた自身に不足していると思うものは」という設問では、男性がセンスのよさを第一にあげていますが、女性から見たところでは四位となり、それほど重視していません。女性から見たところでは四位と

参加者募集

自然観「^{ゆうゆう}遊友」物語

- いつ 2月6日(土)~7日(日)1泊2日
- どこで Asahi自然観
- 参加費 10,000円
(宿泊料、リフト代2日分含む)
- 対象 独身男性25~35歳 10名
くわしくは役場企画情報課まで

若者へのメッセージ

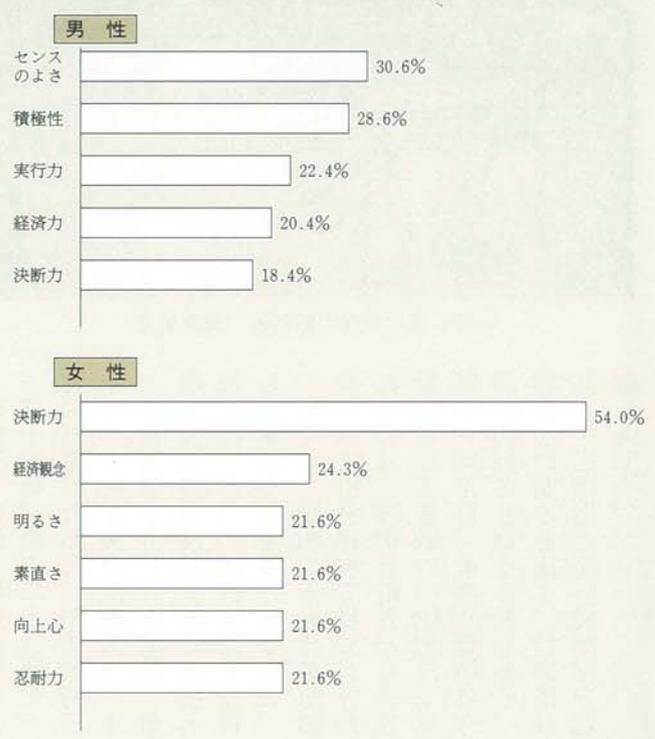
町結婚相談員 渡辺 薫さん
(古樸・43歳)

朝日町へお嫁においでということで、先日上京する機会がありました。東京の街を歩けば、若い女性たちが肩を並べて楽しそうにショッピングをしています。朝日町でこんな光景がみられるのは、いつのことかと、つい考えてしまいました。しかし、全国的に見られる農山村軽視の社会風潮の中で、私はあえてそれに立ち向かいたいと思っている一人でもあります。

最近の結婚適齢期は、一般的に男性28.5歳、女性26.5歳といわれていますが、一人ひとりそれぞれ違います。チャンスは生涯のうち3度あるといわれています。年齢を感じて、結婚した時がその人の適齢期でしょう。そろそろ相手がほしいと感じた時が、適齢期であるともいえます。その時は、自分の足で積極的に相手を見つける努力をしなければなりません。自ら相手を探そうとしてこそ、若さであり、青春というものでしょう。その応援団が両親であり、友達であり、町なのです。

長い人生では、ともに喜びをわかち合い、苦勞を分け合う良き伴侶が必要と思います。これまでも、いくつかのお見合いや結婚のお手伝いをさせていただきましたが、ほのほのとした家族愛を感じた時、それまでの苦勞が感激に変わってくるのを覚えずにはられません。

問8 あなた自身に不足していると思うもの(3つまで可)



追伸
拝啓 独身男性諸君
「結婚難」確かにそうなのかも知れませんが、でも、そう思い込んでしまうことはもつと危険ではないでしょうか。
私は住まいを聞かれたとき、いつも「朝日町」と胸を張って答えます。すると「あんな山の中」という反応が返ってきます。でも、山形市まで三十分で行けるし、リングはおいしいし、自然観でスキーもできるよと言いつつ返してやります。町も人間も同じです。自分のよい点を積極的にアピールすることから道は開けるのではないのでしょうか。
25歳独身男性より 敬具



うだと決めつけられるものではないでしょうか。係では、みなさんありません。各人それぞれ考え方や事情が異なるからです。そこに、この問題の難しさがあるといえます。みなさんは、この結果をどのようにご覧になった

でしょうか。係では、みなさんからの意見、感想などをお待ちしております。
(担当・町後継者対策協議会事務局 役場企画情報課)



一票一票に町民の期待が (開票風景)

町長選挙及び 町議会補欠選挙

新町長に清野隆氏

町議補欠選挙は阿部正二氏(立木)が当選

町誕生以来、初の本格的町長選挙が十一月十日に告示され、三人の立候補者による激しい選挙戦が展開されました。十一月十五日に投票が行われ即日開票の結果、前収入役の清野隆氏が三、四四七票を獲得し、同日に行われた町議会議員の補欠選挙では、阿部正二氏が初当選しました。

任期満了に伴う町長選挙は十一月十五日、町内二十カ所で一斉に投票が行われ、午後七時三十分から町中央公民館大ホールで即日開票が行われた結果、前収入役の清野隆氏(五十九歳・四ノ沢)が三、四四七票を獲得し見事初当選を果たしました。

町では、昭和二十九年の町村合併以来町長選挙で投票が行われたのは、現職と町外からの立候補者による戦いの昭和三十三年の一回だけ。本格的選挙は今回が初めてということもあり、有権者の関心も高く、投票率は九五・三四%の高い投票率を記録しました。

十一月十日の告示前から、三人の立候補者がうわさのほり、告示と同時に予想どおり清野隆氏(四ノ沢・前収入役) 無新と熊坂正一氏(元町・前助役) 無新、阿部正義氏(松程・元高校長) 無新の三人が立候補し、三つどもえの激しい選挙を展開。三候補とも「高齢者対策の施設整備」や「若者定住対策」などを掲げ、各集落で積極的に座談会を開催し支持を訴えました。

また、同時に行われた松田庄治氏の死去に伴う町議会議員の補欠選挙では、阿部正二氏(立木) 無新と白田栄一氏(大谷) 無新の二人が立候補。阿部正二氏(六十九歳・立木)が三、八〇〇票を獲得し初当選を果たしました。



阿部 正二氏
(69歳・立木)

経歴

- 町青少年指導センター委員
- 立木区長
- 西部地区自治公民館連絡協議会長
- 総務建設常任委員

投票結果

	区分	男	女	計
町長選	当日有権者数	3,894	4,060	7,954(人)
	投票者数	3,705	3,878	7,583
	棄権者数	189	182	371
	投票率(%)	95.15	95.52	95.34%
町議補選	当日有権者数	3,894	4,060	7,954(人)
	投票者数	3,705	3,877	7,582
	棄権者数	189	183	372
	投票率(%)	95.15	95.49	95.32%

昭和二十一年九月三十日付で大谷村農地委員会専任書記に奉職以来、四十六年の長きに亘り役場に勤務し、その間教育長十六年、助役七年五カ月、町長十六年と歴任させて頂き本年十二月七日任期満了となり退任させて頂くことになりました。

四十六年の長い



前町長 小林 富蔵
(74歳・大沼)
S21年大谷村役場奉職
大谷村教育長 1年
朝日町教育長 15年
同助役 7年5カ月
同町長 16年
H4.12.7 町長退任

間には、首にされても不思議でない様なことも何度かありました。しかし、初代村山善一郎町長、二代鈴木幸次郎町長、三代志藤武志町長さんらから格別の

御指導を頂きましたことは勿論、役場職員をはじめ町民各層から温かい御支援、御指導をいただいたおかげで今日まで来られたものと、心から厚くお礼申し上げます。

ける次第であります。

町は、第三次総合開発基本構想基本計画を策定し、平成十二年を目指して計画の実現に向け鋭意努力いたしております。中でも高齢者福祉対策としてのふれ

皆々様の御壮健と御多幸をひたすお祈り申し上げ、お別れのご挨拶とさせて頂きます。長い間ほんとうにありがとうございました。

退任のあいさつ

することを強要されております。一方、国内では度重なる不祥事によって政治不信の念が高まり政財界の抜本的な改革が叫ばれております。こうした中でわが

あいの里づくり、若者定住対策、中山間地農業振興対策の早期実現、並びに計画的な文教施設の整備、病院診療棟の改築、診療科目の再検討等重要課題が山積しております。新

ご支援・ご指導に感謝

町長の手腕、力量と町民各位の熱意と努力に大きく期待するものであります。

三十四年振りの町長選挙にあたり、多数の皆様方からご支持ご支援を頂き浅学非才の私が町政の重責を担うことになりました。私は選挙期間中町民の方々から「何事にも誠

ました五本の柱、すなわち福祉と健康の町づくり、教育の振興、若者定住と環境整備、活力ある産業づくり、町民との対話による町政を中心に住みよい町づく

さらに、緊急的な課題として、第一に老人の総合福祉対策であります。特に一人暮らし老人や寝たきり老人には、安心して老後を過ごせる施設の整備が必要

なければなりません。具体的には、若者向けのアパートや一戸建て住宅の建設。あるいは、Uターン者等への住宅対策に取り組んでまいりたいと思っております。

就任のあいさつ

町民との対話の推進

その他公約実現のため、町民の皆様方と二人三脚の町政を推進してまいります所存であります。

り努力する所存であります。それにはまず、五十三億円にのぼる起債を抱えた中で、財政問題に率先して取り組まなければなりません。



町長 清野 隆
(59歳・四ノ沢)
S32年朝日町役場奉職
S50年産業課長
町収入役 2年11カ月
H4.12.8 町長就任

をしつかりと心にきざみ、町民との対話を基本とし、民意を反映した町政運営をしなければならぬと強く感じました。

私は公約として訴えてまいり

第二点は、若者の定住対策であります。町の活性化を図るには、若者が進んでこの町に定住したいと思える町づくりを進め

す。皆様方からお受けした教訓を大切に、思いやりの心をもって豊かで住みよい町づくりに努力してまいります。町民各位のご支援をお願い申し上げます。

町長選挙開票結果

候補者名	所属	得票数
㊤ 清野 隆 氏	無新	3,447
次 熊坂 正一 氏	無新	2,202
阿部 正義 氏	無新	1,871
無効投票数		62
その他(持ち帰り等)		1
投票総数		7,583 票

町議補欠選挙開票結果

候補者名	所属	得票数
㊤ 阿部 正二 氏	無新	3,800
次 白田 栄一 氏	無新	3,483
無効投票数		299
投票総数		7,582 票



応援にも思わず力が入ります

第4回 北部地区ビーチバレーボール大会 婦人



の軽スポーツは楽しい

心身ともにリフレッシュしようと、ヤングママさんたちが大集合し、北部地区婦人ビーチバレーボール大会が十一月二十九日、北部体育館で開催されました。

大会当日は、時折暖かい日差しが入りこむ小春日和の天気恵まれ、この時期にしては絶好の大会日和となりました。

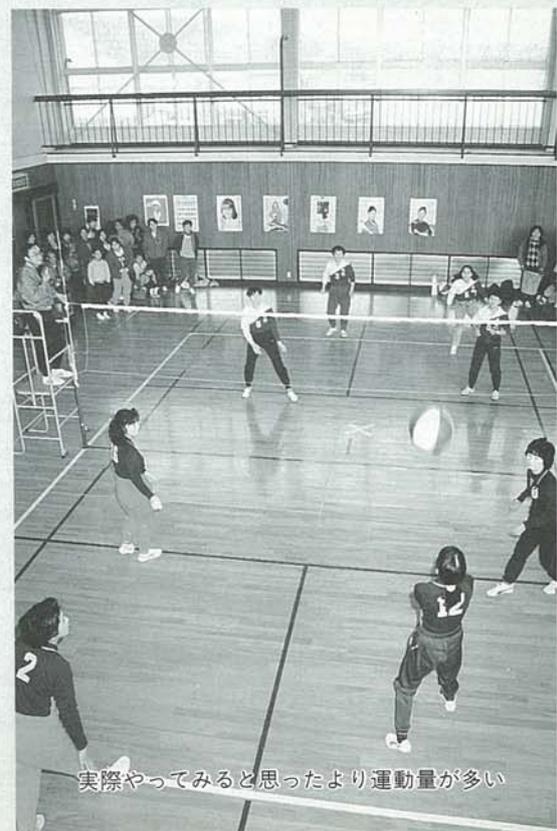
今年で四回目になる大会は、初心者でも簡単にできる競技のため年々参加チームも増加。今年は20チーム10名の選手たちが、チーム名も「マドンナ」や「マーガレット」など女性らしい名前前で出場。選手たちは、家族の声援を受けながら、大粒の汗と笑顔で輝いていました。



スポーツで大きな輪となる朝日



女心がのぞくピンクのヘアバンド



実際やってみると思ったより運動量が多い



コントロールに注意してサーブを打つ



区長さんや婦人会のみなさんが応援にかけつけてくれました

汗と笑い



バドミントンコートを利用して4人一組でだれでもできるのが特徴

■連絡先
 役場企画情報課
 企画広報係へ
 ☎67-2111 (内222)



13回産業まつり

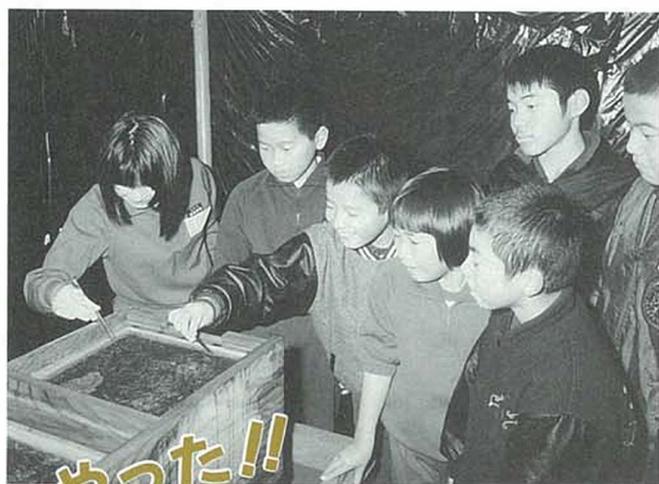
町産業界の総出演

産業大賞は「(有)地球耕望」が受賞

町産業界の総力を結集した、第十三回朝日町産業まつりが十一月二十一日、二十二日の両日にわたり町民体育館を中心に盛大に開催されました。

日用品などの販売コーナーも設けられ、四千人近い町民でにぎわいました。二十一日は、高齢者のゲートボール大会や婦人会の皆さんによる民謡体操なども披露され、例年にも増して華やいだ祭りとなりました。また、初日の開会式の席上、

恒例の産業大賞の表彰式が行われました。この賞は、地場産業の発展に貢献した個人や団体を毎年表彰するもので、今年は温泉の開発事業に成功し、「りんご温泉」をオープンさせた、有限会社地球耕望に大賞が贈られました。また、奨励賞は地下熱源を利用し、サクラノボのポット栽培や花き栽培などの施設園芸に取り組んでいる、宮宿施設園芸組合が受賞しました。



やった!!

ヤマメのふ化に成功

立木小の5・6年生

ヤマメは清流にすむことから、素人による人工ふ化はとても難しいといわれている魚です。

そのヤマメのふ化に、立木小学校の5、6年生が成功しました。

立木小学校の5、6年生7名は、ヤマメが卵から稚魚になる過程を自分たちで観察したいと担任の佐竹伸一先生(常盤)に相談。10月6日に、父兄で川魚の養殖を手がけている長岡勇一さん(立木)の雌から約7,000個を採卵。それに校舎の中庭で飼っている雄の精液をかけ、受精させました。

長岡さんの指導を受けながら、世話をすること1カ月、11月7日ころから一斉にふ化が始まりました。約8割がふ化に成功するという、高いふ化率に子供達も満足そうでした。

ふ化で一番注意しなければならないことは、雑菌を入れないこと。次に水の管理ということですが、ふ化場は学区民の資金援助で作られ、水は旧校舎近くの湧水を引き入れてクリアしました。

これらの稚魚は、11月下旬から餌付けをはじめ、来春には5センチメートルぐらいになり、子供達の手で朝日川に放流される予定です。そのうちの何割かは海に下ってサクラマスになり、再び立木に帰ってくる日を子供達は今から楽しみにしています。



このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

ひとことトーク

日本一のりんごは “天の恵み”と“己の精進”

～町りんご品評会で最優秀に輝く～



阿部正敏さん
(今平・56歳)

農業を取りまく環境は、年々厳しさを増しています。りんご栽培も例外ではありません。しかし、わが朝日町は諸先輩方が築き上げた産地名柄と、すばらしい技術があります。

私も農協をはじめ各関係機関の指導のもと、りんご作りをやってきました。しかし自然の力に對し、人間の力ではどうにもならないことがあります。その例が昨年の台風です。収穫間近のりんごが、足の踏み場もないほど落とされてしまいました。

今年は昨年の分もと、春から努力してきたつもりです。幸い天の助けもあり、やや小ぶりながら品質の良いりんごができました。そして、この度の品評会で最優秀賞をいただき、一層精進して行かなければと決意を新たにしています。

ふるさと人国記 32

阿部徳次郎

—東京で故郷を唄った演歌師—



この「演歌師」という唄が東京新宿の街角に流れたのは、昭和四十九年のことであった。木下龍太郎作詞、阿部徳次郎作曲で、若原一郎によって唄われたものである。

大正十四年三月二十三日、宮宿阿部幸次郎氏四男として生れた徳次郎は、歌手をめざして昭和十四年に上京。日本歌謡学院に入学、さらに東邦音楽学校で

「酒にや消えない 悩みなら唄はどうです 演歌師」
長い間にや 浮きしづみ
ときにやあります 人生は人の心に灯をともし
流し稼業は 楽しいね
ア ホント

声楽を学ぶ。昭和二十年徴兵で満州へ出征、シベリアより復員帰郷後の昭和二十二年に再上京して演歌師となる。彼のひたむきさがむくわれて、東京新宿を中心とする流しの東邦芸能代表となり、昭和四十八年十二月にはキングレコードの作曲家としてデビュー。彼の作曲した「演歌師」は、その翌年に発表され好評を博した唄である。

ネオンに輝く首都の街角で、疲れをいやしてさざめく人々と共に唄いながら、彼はいつもふるさとの朝日の山と最上川の姿を懐のうらに感じていた。

東京在住の朝日町出身の人たちの面倒を見、東京朝日会設立の先頭に立った彼は、「ふるさと公演」で帰郷したりして、いつもふるさとを愛していた。

人の心と唄の接点に命をかけた演歌師阿部徳次郎は、昭和六十三年四月二十五日、ギター弾く手を止めて生涯を終る。享年六十三歳。 文・杉ひさし



町づくりの功労者を表彰

平成4年度

朝日町自治功労者等表彰式

町では、長年にわたり町の振興発展に尽された方や、社会のため模範となるような活動を続けている方に、自治功労表彰や善行褒賞を行っています。

今年の表彰式は去る十一月二十七日、町中央公民館で行われました。表彰を受けた方は次のみなさんです。おめでとうございます。

長い間民生児童委員として尽力され、地域福祉の向上に寄与されました。

■大井 ツヤ氏 (太郎三・57歳)

昭和四十七年から二十年の長い間民生児童委員として尽力され、地域福祉の向上に寄与されました。

■白田幸三郎氏 (大沼・71歳)

昭和四十九年から十八年の長い間民生児童委員として尽力され、地域福祉の向上に寄与されました。

■海野 博氏 (宇津野・77歳)

昭和五十一年から十六年十ヶ月の長い間民生児童委員として尽力されました。また、平成元

年から同協議会副総務として、地域福祉の向上に寄与されました。

■阿部 藤氏 (今平・66歳)

昭和五十二年から十五年の長い間民生児童委員として尽力され、地域福祉の向上に寄与されました。

■大井 武氏 (太郎三・85歳)

昭和五十六年から十一年の長い間町長寿クラブ連合会長として、高齢者の福祉向上と生きがいの高揚に寄与されました。

(産業経済功労)

■白田 隆氏 (大沼・67歳)

三十年以上の長い間大沼区役員、区長として地域発展に貢献

されました。また、大沼葉たばこ団地組合長や大沼浮島を守る会の会長として地域農業、観光の振興に寄与されました。

■白田 常夫氏 (栗木沢・61歳)

昭和六十二年から大谷土地改良区理事長として大堰水利組合と大谷土地改良区の合併、大規模馬神地区ため池改修事業などを行い、農業生産基盤の整備に寄与されました。

■清野治右エ門氏 (古楨・82歳)

町議会議員や区長を歴任され道路網の整備に心血を注がれました。特に、主要地方道山形朝日線整備促進既成同盟会副会長として中央陳情をはじめ整備促

日本料理にあつた

日本酒をどうぞ

県内初の酒匠誕生



長沢正彦さん (本町)

寒い晩はあつのおでんに日本酒で一杯。辛党にはたまらない季節になりました。そこで問題です。あなたは、おでんとどんなお酒を組み合わせて飲みますか。ええ、そんなことがありますのですか。おいしい料理をさらにおいしく召し上がっていただくために、最も適した日本酒をご教示できる、それが酒匠(日本酒版ソムリエ)と呼ばれるお酒選びの専門家です。

この酒匠に、本町の長沢正彦(30歳)さんが合格率40%という難関を突破して合格されました。

長沢さんは、朝日自然観の和食担当の調理師さんですが、日本料理専門調理士や日本料理調理技能士の肩書をもつ日本料理のプロ。彼いわく「フランス料理のように料理によってワインが違うように、和食にもそれにあつた日本酒があるはず」と考

自治功労表彰

(社会福祉功労者)

■齋藤 八蔵氏 (夏草・77歳)

昭和四十四年から二十三年の長い間民生児童委員として尽力。また、平成元年から同協議会総務として、老人問題や児童問題に積極的に取り組み、地域福祉の向上に寄与されました。

■高橋 勇助氏 (水本・72歳)

昭和四十六年から二十一年の長い間民生児童委員として尽力され、地域福祉の向上に寄与されました。

■志藤 薫子氏 (能中・68歳)

昭和四十六年から二十一年の



新築された西町コミュニティーセンター

ふるさとめぐり
〈30〉

西町の歩み

西町

昔、西町は「新梨」と呼ばれ、江戸時代末期に上宿（現在の本町）の延長として家が建ちはじめ、明治末は五十戸足らずでした。当時ほかの土地から移り住んだ者が多く、畳屋、庭師、菓子屋、鍛冶屋、麴屋などどちらかという職人町だったようです。また、西五百川村への街道だったため往来が盛んで大変な賑わいぶりだったようです。

現在は昔のような賑わいは見られないものの、町内で一番の百二十一世帯が暮らしています。昭和三十六年には町内の先端をきって、旧宮宿町教育委員会の建物を譲り受け、西町公民館を建設しました。戸数が増えるに従い、手狭になった公民館を改築しようという機運が盛り上がり、昭和六十一年から全戸による積み立てを始め、今年の二月にモダンなスタイルの公民館が完成しました。建物に負けない活動をしようと、住みよい村づくりに積極的に取り組んでいます。

（西町公民館長 鈴木欣一）



中沢／
五十嵐千晶さん(小学4年)
祥平くん(小学2年)
朗くん(2歳)
五十嵐俊男さん(63歳)
スズさん(63歳)

わたしのおいっぱん

私のおじいちゃんは63才で、元気いっぱいです。りんこの仕事と、魚つり、山菜とりをやっています。この前庄内の海に行つて、「さより」という魚をつつてきました。すぐやいて食べました。とてもおいしかったです。りんこの仕事が忙しい時は、雨ふりの時もいっしょうけんめいがんばっています。とてもやさしい働らき者のおじいちゃんです。いつまでも元気で長生きして下さい。

—千晶—

進に寄与されました。

（交通安全功労）

■若月清五郎氏（西船渡・70歳）

昭和三十三年から三十五年の長い間大江地区交通安全協会理事として、また支部長や同協会の副会長、会長を歴任され、交通事故防止や交通安全思想の高揚に寄与されました。

（母子保健功労）

■多田きよ子氏（大町・69歳）

昭和二十二年から助産婦として活躍。また、昭和四十六年から母子保健推進委員として乳児訪問指導や乳幼児検診に尽力され、母子保健の向上に寄与さ

れました。

善行褒賞

■高木福祉隣組（大谷三）

昭和六十三年の結成以来隣組員が一致協力をして、一人暮らし老人の世話を献身的に行いました。

■長岡 幸子氏（太郎二・40歳）

昭和六十年十月以来事故で寝たきりとなった夫を献身的に看護し、両親と三人の子供を養育されています。

■阿部 勲氏（西町・58歳）

丹精込めて育てた山野草を年間を通し、役場や町立病院に展

示し、訪れる町民に安らぎを与えられています。

感謝状

■清野 きよ氏（大谷三・88歳）

自分の宅地四八八・七一平方メートルを子供の遊び場や公民館用地として町に寄付され、地区民福祉向上に大きく貢献されました。

技能者表彰

■安藤 政一氏（常盤・71歳）

約五十年にわたり鍛冶職人としてその職務に精励され、卓越した技能で業界の指導育成に尽

力し、当町でただ一人の鍛冶職人となった現在もたゆまぬ技術の向上に努められています。

■柴田 正一氏（大町・60歳）

三十年余にわたり菓子製造業としてその職務に精励され、その卓越した技能で後継者育成に尽力し、業界の役員として活躍されながら技術の向上に努められています。

■佐竹 恒子氏（常盤・54歳）

三十年余にわたり美容師としてその職務に精励され、その卓越した技能で後継者育成に尽力し、常にたゆまぬ技術の向上に努められています。

えていたとか。そこで、財団法人調理師会が開いた酒匠認定試験に挑戦。東京で行われた三回の講習会に欠かさず出席し、十二月一日にみごと県内初の酒匠に認定されました。

ちなみに料理にあつたお酒とは、銘柄ではなく甘口、辛口はもちろん、端麗か、芳醇か、吟醸、大吟醸、純米などを飲み分けるのだそうです。例えば、お刺し身だったら端麗辛口、煮物だったら芳醇甘口となるとか。日本酒を飲むと二日酔いをするという方、たまにはこんな味わい方をしてはいかがでしょう。



し、本山に行つて言われました。「ここにいる坊さんは、プロ中のプロである。地方でいくらすぐれていると言われる坊さんでも、ここでは通用しない。」

考えてみれば、本山には全国から参拝者がまいます。一つも、失敗は許されません。法要ばかりではありません。掃除にも、食事にも、案内にもすべて落ち度があつてはいけません。この緊張が、本山全体をおおっているのがわかりました。

「私がここでやることは、すべてプロである。プロでなければならぬ」という自覚が何よりも大事でした。まわりの坊さん方も、そういう目で見、耳で聞いておりますし注意もします。生活のすべてが、行事の流れの中にとけ込んでいなければなりません。

そこには自我もなければ、忘我也ありません。淡々と自分の役目をつとめるだけであります。

人につつまえる

ものとは

歌手の都はるみさんが、美空ひばりさんの追悼文集の中でこう言っておられたのを思い出しました。

美空ひばりさんは、いつも歌の主人公になりきっている。ひばりさんは「この歌、いい曲でしょう」という。曲から一歩離れた位置では歌っていない。全部が自分で、歌は後から付いてくるものなのです。ひばりさんは、いつ歌つても、同じ曲の同じ歌詞で涙を流せるんです。ひばりさんは、歌をとおして「私は、こう思うのよ」と皆に言えつてしまう。

私たちは、なかなかこうはなりきれません。しかし、何かに夢中になりきれたときに、人につつまえるものが出てくるのかも知れません。

人の

理想のすがた

このようなことが理想化されると、宗教や哲学になるのだと思われまふ。

京都・竜安寺のつくばい（手洗いばち）に、水戸光圀公が書いたと言われるお釈迦さまの言葉があります。

「吾唯知足」

（われ、ただたるをしる）

ここには、私たちの人生のなかで、何事も自分のこととして、

それにはいり込んでいる姿があるように思われます。少なくとも、ソクラテスの言葉と言われる

「汝、自らを知れ」

（なんじ、みずからをしれ）ではないように思われます。これは他人事のように、あくまでも自分から離れたものの見方をしているように思われます。

今の

私たちの目標

今の私たちの生き方は、ややもすると自分から離れた見方を優先していないでしょうか。そこには、優劣の比較があつたり、われさきにとりう欲があつたりしてはいないでしょうか。

もちろん、そういうこともある面では、必要なのだと思えます。しかし、それに振り回されない生き方があることを、自覚したいものであります。

何事も、他人との比較ではなく、自分のこととして正面から取り組んで行きたいものであります。

これが、他の人に何事かをうつつたえることにつながるのかも知れません。

（教育広報副委員長 塚本旦道）

ムシ歯は1本もないよ

3歳児健診

12月4日に3歳児健診が行われ、38人中次の6人が虫歯が一本もない「ムシ歯ゼロ」に輝きました。子供の健康は健康な歯が基本、これからも、家族みんなで虫歯ゼロ運動をすすめましょう。



▲菅井 正くん
（大町・信彦さん）



▲白田美穂ちゃん
（大谷二・勝敏さん）



▲渡辺英行くん
（四ノ沢・定行さん）



▲鈴木聖児くん
（大隅・博さん）



▲鈴木一平くん
（西町・正道さん）



▲志藤彩音ちゃん
（能中・靖則さん）



さややか 新婚さん

●立木/阿部 俊幸さん 江理さん

俊幸「軽く引っかけてるか。(たまたま山形市内の Snackbarで)」

江理「なァーにこの人、しつっこーい。」

俊幸「ばあちゃんの手を引いている姿を見て、一緒に暮らそうと決めました。」

江理「ただかっこいいだけじゃない。きらっと光る強い個性を感じたの。」

江理「チャーミーグリーンズのCMのように、おじいちゃん、おばあちゃんになっても仲良く手をつないでいたい。」

俊幸「……ともに白髪のはえるまでというところかな。」
鶴岡育ちの江理さんは、生まれて初めてのナメコとりや、溪流釣りの手ほどきを受け、すっかり立木の魅力にとりつかれた様子。今は、2人で滑る自然観でのスキーが待ち遠しいと話してくれました。



大谷五	白田	嘉和	東根市	阿部	康子
立木	大谷一	助ノ巻	松程	太郎二	区名
阿部	悠佑	久男	一紀	幸	茂
阿部	悠佑	久男	一紀	幸	茂

おしあわせに (婚姻届)



たうやかに (出生届)

新宿	大滝	西町	栄町	大暮山	西原	大船木	川通	大谷一	助ノ巻	長沼	区名
阿部	柴田	長岡	布施	長岡	阿部	佐藤	渡邊	白田	井澤	松田	死亡者氏名
阿部	一男	秀	徹	國	今朝夫	幸	孝	繁	喜	正	世帯主
忠	秀	徹	國	さ	幸	孝	繁	喜	喜	正	世帯主



やすらかに (死亡届)

太郎一 長岡善太郎 善和
栄町 成原武雄 秋彦
大町 菅井ヤエ 信彦
杉山 鈴木常雄 忠助
松原 松尾ひろ 亮藏
大船木 佐藤あさ 進



■ 助朝日町育英会へ寄付
山形市の佐竹好三さん(夏草出身)より十万円いただきました。
・大町の多田積さんからも十万円いただきました。

人口と世帯数

●平成4年11月30日現在

人口	10,382 (Δ27)
男	5,172 (Δ12)
女	5,210 (Δ15)
世帯数	2,543 (Δ 3)
	() 内前月比

年末・年始 交通安全県民運動

■ 期間 12/21~1/10

■ 重点目標

- ① 飲酒運動の追放
- ② 積雪時の事故防止など



春 夏 秋 冬

編集後記

周知していきたくらいと思ってる。この中で「女性が参加できるイベントが必要か」の問に対し、43.2%が「必要」と答え、「ミニ旅行での交流」や「いい女になるための研修会」などに参加したいとの回答が寄せられた。しかし、男女共「結婚は本来本人の問題」と自覚している人も多くおり、今後その数が増えてくれることに大いに期待を持ちたいものだ。(文)

久々に原稿を書く機会に恵まれた。とはいえ、喜々として、手が勝手に動いてはくれない。そのような文才があるはずがないのだから。
今回の特集をみなさんほどのように受けとめられたらどうだろうか。掲載されたものはアンケートの中のごく一部であり、もっと多くをお知らせしたかった。これについては今後小冊子にまとめ、希望者にお配りするなどして、